

東京都少年サッカー連盟主催大会新型コロナウイルス感染防止対策 大会当日受付の流れ
【JFA 第 45 回全日本 U-12 サッカー選手権大会 東京都大会】編

はじめに

新型コロナウイルス感染防止対策として、以降に掲げる事項を大会に参加するチームの責任及び個人の責任において確実に遵守するよう努めて下さい。大会が安全に且つ無事故で終える事ができるよう大会参加に関わる全員で新型コロナウイルス感染防止のための取組を確実に実施してまいりましょう。

①会場共通規定

- ①競技場の外はテント設置不可。チームテントは会場において指定場所に設置可。
- ②チームアップは指定のアップ場所で行う。
- ③来場者、周辺公共施設及び近隣に迷惑のかかる行為は、状況によっては退場していただくこともある。
- ④会場内禁煙。※施設に所定の喫煙場所があっても利用不可。
- ⑤来場者は場内通路で密を作らず妨げないようにする。

②チーム・保護者受付場所、観戦保護者用リングの貼付

各チームは会場到着後、各会場の受付場所で**※指定された時間帯**にチーム代表者が選手全員、指導者 5 名と選手 1 名につき観戦保護者 1 名（上限は赤羽、稲城、富士森は 25 名、小石川、南豊ヶ丘は 20 名、町田は 50 名）の健康チェックシート提出とチーム受付を済ませる。

受付付近をチーム集合場所にしないようにし、選手、保護者が密にならないように指導して下さい。観戦保護者（規定数以内）の健康チェックシートが受付時に揃わない場合は、チーム試合コート、観戦・待機場所への入場はその時点ではできません。健康チェックシート全員分が揃った時点で保護者代表者又はチーム代表者が受付でチーム名を伝え、保護者観戦用リングを受取り下さい。

リング装着の無い方は会場観戦者入口で大会役員が入場をお断りします。

上記感染対策の観点からご承知下さい。

③グラウンド・試合観戦について

◆指導者・選手

- ①指導者、選手はマスクを常に着用。マスクを外せるのはアップ中と試合出場中の選手のみです。
- ②指導者は指示をする時もマスク着用のこと。マスクを離し喋ることは飛沫防止の観点から遵守下さい。
- ③指導者・交代選手のベンチ観戦の際はソーシャルディスタンスを保ちつつ、大きな声を上げての声援は禁止。応援は声を上げずに拍手を推奨いたします。
- ④試合終了後はベンチを速やかに空け、コート周辺で指導者・選手は集まらずに自チーム待機場所へ戻るようにお願いします。

◆観戦保護者

- ①観戦はリングを装着した選手の保護者（会場別の許可数）が入場。乳幼児、未就学児他選手兄妹の観戦は不可。
- ②コート入口で大会役員からリング装着のチェックを受けて入場。再入場時はリングを提示する。
- ③観戦は自チーム試合時に指定位置又は所定位置で隣との間隔を取り観戦。
- ④観戦時は大声を上げての声援は禁止。応援は声を上げずに拍手を推奨いたします。
- ⑤3密を避ける行動、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、手消毒など観戦対策を各自の責任において実施して下さい。
- ⑦飲食はチーム待機場所又は所定の場所にて済ますこと。
- ⑧試合終了後は次チーム観戦者と速やかに入替を行う。
- ⑨ゴミは各自ビニール袋に入れて持ち帰る。
- ⑩チーム横断幕の掲出は町田 GION スタジアム会場以外禁止です。

④駐車場・周辺道路について

- ①会場内の駐車場は、大会役員、関係者、来賓が利用するためチーム車両は許可のある会場以外利用できません。
- ②会場周辺、公園等の有料駐車場を利用して下さい。
- ③駐車場設置会場では駐車場入口付近等に大会役員が配置して警備にあたります。

⑤会場までの公共交通機関アクセス(最寄駅)

- ①配布済みの各会場案内図を参照して下さい。

※上記条件で各チームご協力をお願いします。

～大会当日受付からの流れ:指導者・選手・保護者～

会場到着後～指定時間帯に受付本部で健康チェックシート全員分の提出とチーム受付を済ませる

受付本部で保護者観戦用リングを受取り後、保護者はリングを装着して観戦者入口で大会役員のチェックを受けて入場する流れになります

指導者、選手、観戦保護者は其々の待機場所へ移動し準備を行う

観戦保護者はチーム試合開始10分前から観戦者用入口付近で大会役員のチェックを受けて観戦場所へ入場する

第一試合のチームから大会スケジュールに沿って試合開始に備える
試合開始前のユニフォームチェック、用具チェック時は指導者、選手全てマスク着用

観戦保護者は指定された観戦場所で密にならないように観戦、大声を出しての観戦は禁止
試合終了後は次試合の観戦者と速やかに入替する。
勝ち残りチームの観戦保護者以外は会場に滞留せずに早めに会場をあとにする